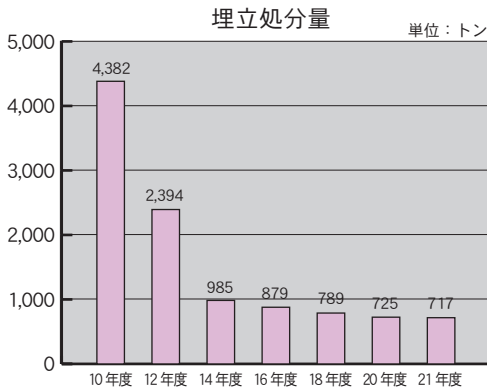


捨てればゴミ。分けると資源！

大崎町 リサイクル率 79%

全国平均 20.3%

一般廃棄物埋立処分量



埋め立て処理場の 延命化に大きく貢献

本町は、従来からごみの焼却施設が存在せず、一般廃棄物の処理は一部事務組合による埋め立て処分で行われてきました。平成10年度当初、埋立処理施設があと数年で満杯と試算されたことから、同年9月に分別収集と指定袋の導入を行い、地域一体となり、リサイクルに取り組んできました。

平成21年度の一般廃棄物埋め立て処分量は、712トンとなり、リサイクル導入当初の4382トンの約84%の削減を実現しました。リサイクル開始時から、推測2万5千トンの埋め立てゴミが削減され、埋め立て場の延命化に大きく貢献しています。

ごみの資源化の経緯

【H10】

資源ごみの3品目分別収集開始
(缶・ビン・PET)

【H11】

そおりサイクルセンター完成 (民間施設)

【H12】

・資源ごみ16品目分別収集を開始

【H13】

・菜の花エコプロジェクト着手
・生ごみモデル地区回収を開始
・資源ごみに雑金属などを追加
(24品目分別収集)

【H14】

・資源ごみに生ごみ分別と割り箸を追加
(27品目分別収集)

【H16】

・有機物の埋立処分を全面禁止

【H17】

・資源ごみに陶器類を追加
(28品目分別収集)

【H19】

・環境省『一般廃棄物処理事業実態調査』
(全国第1位) 18年度分 リサイクル率 80%
平成19年度 環境省『一村・一品知恵の環づくり』事業
全国大会 特別賞『地域循環賞』受賞
(インターネット投票部門 全国第1位)

【H20】

・容器包装3R推進環境大臣賞 受賞
・環境省『一般廃棄物処理事業実態調査』
2年連続 (全国第1位) 19年度分

【H21】

・環境省『一般廃棄物処理事業実態調査』
3年連続 (全国第1位) 20年度分



▲家庭から出された廃食油を精製した軽油代替燃料で走るゴミ収集車

【菜の花エコプロジェクト】

町とそおりサイクルセンターが連携して、家庭から排出される廃食油を、エコせっけん『そおぷ』と軽油代替燃料(BDF)に再生利用しています。この軽油代替燃料をごみ収集車の燃料として使用して資源ごみを回収しています。

町内の事業所と家庭から排出される生ごみと草木剪定枝は、生ごみ完熟堆肥『おかえり環ちゃん』として再生利用しています。

“捨てればゴミ。
分けると資源！”を

合言葉に

“捨てればゴミ。分けると資源！”を合言葉に始めた、ゴミの分別収集。

28種類に及ぶ分別は、いまではごく普通に生活の一部として定着し、他市町でゴミを捨てる際に戸惑う方が、多いのではないのでしょうか。

捨てるごみを分別して回収を行い、もう一度使えるものや資源として使えるものが増加していけば、世界中にあるごみを減らすことができます。

リフューズ(断る)、リデュース(減らす)、リユース(再利用)、リサイクル(分別)の『ゴミの4R』で、ゴミを分別するだけでなく、ゴミを減らすことも考えてみましょう。

できることからちよつとずつ取り組んでいきましょう！